

計画事業番号	00299	事務事業名	姉妹都市交流事業	担当部署	総務部秘書課	電話	3202
--------	-------	-------	----------	------	--------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	昭和52年度		個別計画等	・訪問団の相互派遣事業・「グリーンアスパラ」送付事業			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち	
	(第 10 節) 交流の促進	
	(施策 2) 姉妹都市交流事業の拡充	
2 対象	<ul style="list-style-type: none"> ・北広島市、東広島市の市民 ・広島赤十字原爆病院入院患者、広島原爆療養ホーム入所者 	
3 目的と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北広島市、東広島市の郷土祭りに相互訪問することで、行政機関の交流や地域の特性を生かした教育文化、経済など幅広い交流の推進を図る。 ・北広島市を拓いた祖先の地で、今なお原爆症に苦しんでいる方々に、グリーンアスパラを送付することで、都市間の交流の絆を深めると共に、市の成り立ちや戦争の悲惨さを次世代に伝える。 	
4 実施内容(手段)	28年度まで	<ul style="list-style-type: none"> ・「北広島ふるさとまつり」の時期に東広島市からの訪問団の受入れ ・東広島酒まつり」の時期に東広島市へ訪問団を派遣 ・「広島赤十字原爆病院、広島原爆療養ホームで原爆症に苦しむ方々を励ますため、北広島市及びその近郊で生産された「グリーンアスパラ」を送付
	29年度	<p>昨年と同様である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北広島ふるさとまつり」の時期に東広島市からの訪問団の受入れ ・東広島酒まつり」の時期に東広島市へ訪問団を派遣 ・「広島赤十字原爆病院、広島原爆療養ホームで原爆症に苦しむ方々を励ますため、北広島市及びその近郊で生産された「グリーンアスパラ」を送付

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 広島県内の療養施設等に グリーンアスパラを贈呈	「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 広島県内の療養施設等に グリーンアスパラを贈呈	「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 広島県内の療養施設等に グリーンアスパラを贈呈	「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 広島県内の療養施設等に グリーンアスパラを贈呈	「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 広島県内の療養施設等に グリーンアスパラを贈呈	「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 広島県内の療養施設等に グリーンアスパラを贈呈	「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 広島県内の療養施設等に グリーンアスパラを贈呈	「北広島ふるさと祭り」「東広島酒まつり」の相互訪問 広島県内の療養施設等に グリーンアスパラを贈呈

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	本事業は数値等によって効果が表れる事業では無いが、歴史や郷土をふりかえり、行政、文化などの面でも相互交流が30数年以上にわたり図られており、今後も実施することが大切です。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			942		1,059		1,060		1,060	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	942		1,059		1,060		1,060	
	① 合計	942		1,059		1,060		1,060		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.08	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	0.08	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	672	0	672	0	672	0	672	0	
総事業費①+④			1,614		1,731		1,732		1,732	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①派遣団員数	目標値	人	4	4	4	4
		実績値		4			
	②受入団員数	目標値	人	4	4	4	4
		実績値		4			
③グリーンアスパラ発送数量	目標値	kg	138(1,030人分)	138(1,030人分)	138(1,030人分)	138(1,030人分)	
	実績値		138(1,030人分)				
成果指標	① 東広島市との交流充実度 【指標の定義(算式等)】	目標値	回	2	2	2	2
		実績値		2			
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値					
		実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	交流事業は、市民と市が連携を図りながら実施するものであり、行政が関与することは妥当である。 また、交流においては、政策的な対応を求められることもあり、理事者・議会間の定期的な交流は必要である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	予算支出のほとんどが訪問団の派遣、受入れの旅費であり理事者・議会間の定期的な交流をねらいとしている。 アスパラの送付については各企業の協力を得て経費削減に努め、送付数量を維持している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	市民交流が充実することで、市民各層への受益が拡大すると考えられる。 アスパラ送付については、特定の団体(被爆者養護施設、赤十字原爆病院)を対象とすることで成立している。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	市民交流が充実することで、市民各層への受益が拡大すると考えられる。 アスパラ送付については、特定の団体(被爆者養護施設、赤十字原爆病院)を対象とすることで成立している。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--